

第1回 高洲地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成31年3月23日（土） 10時00分～12時00分

2 会 場 高洲コミュニティセンター 2階講習室1

3 出席者

- (1) 委 員 14人 *欠席 2人（大久保副会長、山田委員）
*代理出席 2人（毛塚委員⇒代理：吉田氏）
（斉藤委員⇒代理：佐藤氏）
- (2) 事務局 5人 *教育委員会 企画課 伊原課長、望月主任管理主事、岩脇管理主事
星野管理主事、吉田主任主事
- (3) 傍聴者 10人

4 協議会設置・議題

- (1) 協議会設立の趣旨について
(2) 会の名称について
(3) 【議題1】学校適正配置の必要性について
(4) 【議題2】高洲地区学校適正配置（案）について
(5) 【議題3】今後の学校適正配置の進め方について

5 会議資料

- (1) 資料1：「「高洲地区学校適正配置地元代表協議会（仮称）」の設立について（案）」
(2) 資料2：「（仮称）高洲地区学校適正配置地元代表協議会委員名簿」
(3) 資料3：「学校適正配置の必要性について」
(4) 資料4：「高洲地区学校適正配置（案）」

6 議事の概要

(1) 協議会設立の趣旨について

事務局が資料1を基に、地元代表協議会設立の趣旨について説明した。

(2) 会の名称について

「高洲地区学校適正配置地元代表協議会」を正式名称とすることが確認された。

(3) 【議題1】学校適正配置の必要性について

地区において中学校の学校適正配置が必要であるという認識が確認された。

(4) 【議題2】高洲地区学校適正配置（案）について

説明会の開催等と併せ、各委員で所属団体での意見集約を行い、次回協議会で再度協議することとなった。

(5) 【議題3】今後の進め方について

次回の協議内容及び、協議会開催スケジュールについて確認された。

7 発言要旨

(1) 教育委員会挨拶（伊原企画課長）

地域子どもたちが安心・安全に学校に通えるよう、保護者の皆様や地域の皆様のご協力をいただいていることに、改めて御礼申し上げます。本日ここに、皆様の総意により「高洲地区学校適正配置地元代表協議会」が設立される運びとなった。本協議会の設立にお骨折りをいただいた、鈴木会長、久保田会長をはじめ、本協議会の委員となっていた皆様に改めて感謝申し上げます。

学校適正配置の目的は、子どもたちの教育環境の改善、教育の質の充実、そして学校と地域の活性化にある。今回中学校の統合について協議会で議論いただくことになるが、中学校の統合は市内でこれまで3つの事例しかない。磯辺地区・真砂地区・花見川地区になる。いずれも、協議を始めていく中で様々なご意見をいただいた。様々な不安な点や、ご心配な点は特に保護者の皆様は感じておられると思う。そういったところを協議会の中で忌憚なく述べていただき、アンケートや説明会の開催へも対応していきたいと考えている。教育委員会のみで主導すると、もう決まっているのではないかと、意図があるのではないかと不安に感じられることがあり、なかなか進まないところがある。従って、地元や保護者の皆様と一緒に手を携えていく必要がある。千葉市では、地域・学校・保護者・行政の四者が連携して、子どもたちの教育をより良いものにしていくことを目指している。協議会と一緒に協議を進めていきたいと考えている。これまで、中学校の統合はしばらく見送るとの結論になった地区もあるが、現在のところ中学校が統合した3つの地区では、学習面・部活動についても活発になされ、地域からも統合して良かったと言っている。

高洲地区においても、各委員の皆様にそれぞれの立場からご意見をいただき、合意形成に向けて十分議論を尽くしていただきたいと考えている。高洲二中の学級数が全校3クラスになる速度が非常に早い。この対応をなるべく早く行うようご意見をいただいていることから、協議資料では最短のスケジュールをお示ししている。想定が1、2年延びるということもあり得ると認識しているが、協議会での協議を進めていければと考えている。

高洲地区の子どもたちに、より良い教育環境を提供するために、協議会が実り多き会となるようにしていきたい。

(2) 会長挨拶（鈴木会長）

協議会設置の議論の中で様々なご意見が出ているが、これ以上に各委員の意見を出し合いながら地区の子どもたちにより良い学校生活が送れるよう、皆さまと協力していきたいのでよろしくお願いしたい。

(3) 会長挨拶（久保田会長）

各委員の活発なご意見を伺いながら、教育について考えていけるようよろしくお願いしたい。

(4) 協 議

協議会設立の趣旨について

会の名称について

〈事務局〉 まず、「協議会設立の趣旨について」、事務局から説明をさせていただく。

【 資料1に沿って説明 】

ただ今の報告で、質問がある方はお願いしたい。

〈藤谷委員〉 小学校の保護者に対して意見を聞きたいということで説明会を9月からお願いしたが、役員に対する意見聴取はあったが、保護者全体に対する意見聴取の機会が得られていない。

中学校の統合の議論なので、小学校にはなかったようだ。全保護者への意見聴取の機会の設定に向けて、保護者が窓口にはなるが開催の事務はできない。実際に作成したアンケートの文面に関して保護者に苦情が来たことがある。保護者を対象に意見を伺っていく姿勢はどのようなものか聞きたい。来年度の説明会の開催をすることになると思うが、その際にアンケートを配布して良いのか、アンケートは保護者が作成するのか。様々な意見があると思うので、その希望をすべてかなえるようなアンケートではないだろうが、せめて意見を言う場があるのか確認したい。代表として選出されてきているが、そのあたりが曖昧な状況で方針がまだない中で、苦しい立場であると感じている。

〈事務局〉 保護者会に対しては、来年度に学校説明会を開催するなど意見交換を行いたいと考えている。

〈藤谷委員〉 保護者会は全体の一部でしかない。学校の保護者全員を対象にしたアンケートを実施するのか。せめて保護者全員から意見聴取が出来る機会があるのか伺いたい。

〈事務局〉 実施する場合は、他の小学校へも広げて実施する必要がある。アンケートで伺いたい内容について、学校ごとに差があることは良くないため、改めてご相談したい。なお、ご指摘のようなアンケートについては、協議会設置前に教育委員会が主体となって学校適正配置対象地区で実施したことはない。協議会の中でアンケートをとるという協議を受けて実施したことはある。花見川地区では、協議会の決定を受けて実施した事例はあった。保護者会の方が、協議会における協議が進まないような場合に、千城台の地区では、対象小学校の保護者全体にアンケートを実施したり、協議会とは別に小学校の部会を組織して、小学校同士での話し合いの場に教育委員会が訪問して説明したりしたことがある。協議会での決定を受けて行ったことはあったが、協議会設置前には積極的には実施していなかった。理由としては、まだ統合の方向性が決まっていないところにいろいろなアンケートを実施したり説明会を開催したりすると、ご負担をかけてしまうことになる。また、高洲地区においては、高洲一中と高洲二中の保護者に対しては事前に説明を行っている。事情としては、まず第3次学校適正配置実施方針の中では、保護者代表・地域代表を対象とさせていただいていることがある。その後、先日の地元説明会を開催した中でご指摘があり、小学校への説明を行うべきというご意見をいただいて、現在事務局で各小学校に相談に行っている。直近では卒業式と始業式の時期に重なっていて、調整がまだできていない。予定では、4月の早い段階で高洲二中に新1年生を対象にした説明会を開催することで調整を進めている。

〈藤谷委員〉 今回参加している中で、統合に賛成なのか反対なのか、まだ高洲四小の保護者の意見がどうであるか結論を持ってこれていないこともあり、委員就任の承諾手続もまだ行えていなかった。

〈事務局〉 高洲四小に関しては、役員の方に説明は行ってきた。教育委員会としては、保護者役員会は保護者の代表であり、保護者の意見を集約しているものと考えて、説明に行かせていただいた。

〈藤谷委員〉 昨年9月の時点でアンケートを取らせていただきたいとお願ひしていたが、解釈のずれがあったためか、まだアンケートを実施しないようにと言われた。そのため、保護者の意見を集約してこられなかった。

〈事務局〉 教育委員会としては、アンケート実施に関する情報は収集するが、アンケートを実施しないよう要請することはないので、はっきり申し上げておきたい。実際、高洲二中では既に実施されていたように思う。

- 〈藤谷委員〉 学校からアンケート実施を見送るように止められた。教育委員会から保護者に向けて直接対応することは難しいとしても、教育委員会から学校に要請があっても良いのではと思う。そのため、意見集約ができていないまま本日を迎えることになった。
- 〈事務局〉 学校でのお考えはあったと思うが、学校からは説明会后に高洲四小でアンケートを実施することは伺っている。先ほど申し上げたように、教育委員会から学校へは指示は行っていない。
- 〈藤谷委員〉 これから説明会が開催されたら、実施していきたい。
- 〈事務局〉 地元代表協議会としてアンケートの実施の必要性が決定された後に実施するようお願いしたい。
- 〈藤谷委員〉 学校適正配置に関する資料を保護者全員に配りたいので、用意してもらえるかと要望した際も対応いただけなかった。高洲四小の中だけで配布するわけにはいかないと学校から止められた。
- 〈事務局〉 資料配布やアンケート実施を止めるよう学校へ伝えたことはない。
- 〈藤谷委員〉 保護者全員に伝える機会がなかった。今後は説明会に参加できない保護者もいるだろう。
- 〈事務局〉 役員の方を訪問し説明するのは、役員の方だけに留めておくのではなく、保護者の皆様に周知いただき、意見集約をお願いしたいということで全ての小学校へ説明に行っている。高洲四小だけではなく、地域の小学校には同様に全て訪問させていただいている。
- 〈寺田委員〉 管理組合の代表として会に参加しているが、現時点では管理組合の意見ではなく、個人の意見であることを理解してほしい。今後、管理組合としての意見を伝えるが、あくまで窓口の役割として参加している認識である。
- 〈事務局〉 協議会での議事内容を持ち帰っていただき、伝えてほしいと考えている。
- 〈寺田委員〉 意見集約ではなく、説明会の場の中で意見を吸い上げてほしいと思っている。また統合までのスケジュールの期間が短く、まだ議論が熟していない。学校は子どものためにあるべきなので、小学校の保護者や子どもたちの共通理解を得てから、会議を行ってほしい。学校関係の方々がどのような意見をもっているのか、地域としてもぜひ知りたいと考えている。それから会議を行うということで良いと思う。
- 〈高野委員〉 真砂五小では、今までに学校適正配置に関する説明会はあったのか伺いたい。
- 〈森委員〉 先ほどの事務局の説明のとおり、役員対象のものはあった。役員ではない保護者から、役員だけに説明するのはおかしい、先日の地元説明会のような会を高洲一中だけで行うのは進め方が雑ではないかとの声がある。
- 〈高野委員〉 中学校の保護者対象のみに説明を行うだけでは不十分である。平成33年度に中学校が統合する場合はあと2年の期間がある。今の中学生はまだ2年間いることになる。そうすると、今後小学生が進学してくる。協議会を開催する前に小学校の保護者の方々に理解していただかないといけない。協議会を開催するのに保護者の意向がないまま協議を進めるのはおかしいと思う。
- 〈事務局〉 まずは、地元代表協議会が設置され、その中で協議いただきながら対応を検討したいと思っている。地元代表協議会の中でアンケートが必要となれば、対応を検討したい。
- 〈高野委員〉 やはり、学校の保護者が納得しなくなかなか進まないだろう。
- 〈事務局〉 ご指摘のとおり、小学校の意見を聞く必要があるから協議会は早急ではないかというご意見があり、一方で中学校の小規模校化を非常に心配する声が寄せられている。実際に早く学校適正配置を進めてほしいという意見も伺っている。まずは地元代表協議会を設置し、本当に早急に進めるべきなのか、時間をかけて慎重に検討していくべきなのか、そういつ

た結論を出していただきたい。教育委員会としては、どちらかの意見だけで進めてしまわないよう、公平に検討いただきたい。

〈高野委員〉 協議の方向性がどのようなものであれ、やはり小学校の説明会は必要であると思う。協議会を設置するにしても、最も関わりがあるのは保護者だろう。

〈鈴木会長〉 小学校に説明会がなかったということについては、コミュニティセンターを会場として、地元説明会を行う予定だったが、会場の調整がつかず、高洲一中を会場として行ったためである。高洲二中での開催については会場確保の問題があり、中学校だけに関わらず地区に関わる全ての方に自由に参加してほしいという思いもあった。それから各学校の保護者に対して説明を行ってより具体的な意見交換を行うという想定だった。今までも学校適正配置の協議に参加したことがあるが、代表として参加いただく期間が短くなってしまう委員の方もいらっしゃると思うが、協議内容を学校に持ちかえっていただき、委員から学校で報告をすることで、意見を集めて教育委員会や協議会で報告をするということを何度もやりとりしていかないとなかなか方向性がまとまらないだろう。そのような協議会になっていくものと思う。

〈事務局〉 まず地元代表協議会の設置について承認いただきたく、事務局から説明をさせていただいた。仮称「高洲地区学校適正配置地元代表協議会」を正式に設立・発足させていただきたく、皆様のご承認がいただけるか。

〈委員一同〉 【 異議なし 】

〈事務局〉 正式に地元代表協議会を設置することで承認いただいたものとして進めていきたい。その上で3点確認をさせていただきたい。まず1点目として、資料2の委員の方々の名簿や会議資料、議事録等について、今後教育委員会のホームページに掲載し、公表することとしてよろしいか。

〈寺田委員〉 ホームページの掲載はどのようなものになるのか。

〈事務局〉 千葉市のホームページ内の教育委員会企画課内のページに、他の千城台地区・大宮地区での協議会資料等と併せて掲載したい。

〈寺田委員〉 議事録には委員の氏名は記載されるのか。

〈事務局〉 現在行っている委員選出の承諾をいただいた地区に関しては、名簿や議事要旨の中で名前を出させていただいている。本日が第1回目の協議会となることから、ご承認いただきたいと考えている。

〈森委員〉 保護者会だよりで議事録があるということをお知らせした方が良いと思うが、公表して問題ないか。

〈事務局〉 議事要旨は事務局でもホームページで公表するので問題ない。ぜひ保護者会等でもお知らせいただきたい。議事要旨については、各委員への修正確認を行った上で、誰でも閲覧できるようにホームページへ掲載する。資料と併せ委員の氏名も公表させていただくのでよろしくをお願いしたい。2点目として、ホームページ掲載用の写真を会議中に撮らせていただき、協議会開催の様子として公表してよろしいか。

〈委員一同〉 【 異議なし 】

〈事務局〉 最後にこの会の名称について、(仮称)「高洲地区学校適正配置地元代表協議会」として承認いただいたが、このままがわかりやすいと思われるため、「高洲地区学校適正配置地元代表協議会」に正式決定したいのでよろしくお願いしたい。

議題1 学校適正配置の必要性について

〈事務局〉 協議の進行については、久保田会長にお願いしたい。

〈久保田議長〉 これからの地区の子どもたちを大切にしていきたい。そのためこの協議は非常に重要である。子どもを第一に考えながら、地域の発展につなげていきたい。真砂中の統合に関わってきた経験があり、確かに地域の皆さんの気持ちはよくわかる。ご意見をよく伺いながら進めていきたい。3月3日に行われた地元説明会では、学校適正配置の賛否よりも、各団体への説明会の要望や、統合した場合の通学の安全、工事についての質問や意見が中心だったと思う。この協議会は、高洲地区の中学校の学校適正配置ということで設立されたが、ここで改めて地区の学校適正配置の必要性について議論をしていく必要がある。まずは、学校適正配置の必要性について、事務局より説明をお願いする。

〈事務局〉 【 資料3に沿って説明 】

〈久保田議長〉 事務局より説明があったが、資料を参照していただいて、高洲地区中学校の統合の必要性についてのご意見を伺いたいが、いかがか。

〈宮崎委員〉 教育委員会とはこれまで何度も説明いただき、保護者会とは何度も議論を重ねてきたが、高洲二中の現状についてご説明したい。数年前までは、各学年でクラス替えができる状況であった。体育祭でもそれぞれの学年で紅白がクラス別に分かれることができた。高洲一中と比べると、全校でも人数が少ないなか、広いグラウンドで生徒が少ない様な状況で体育祭を行ってきたような印象があった。学年が2クラスの時はいたしかたないという思いがあったが、昨年度の1年生が1クラスになった。このため、1クラスの中で、紅白に分かれて体育祭に参加することになった。また合唱コンクールでは、2クラスある学年でも、1クラスあたり20名程度で運営されている。今年学区内の小学校を卒業して入学してくる新1年生も37名の予定と学校から伺っており、危機的な状況であると感じている。地域の方の様々な思いや、学校の中でのアンケートで統合に反対する中学校の保護者の方がいらっしゃることも理解しているが、このままで本当に良いのだろうかと考えている。部活も資料に記載がされているとおり、卓球部が廃部となり、運動部の数が少なくなる。文化部も1つにまとまって、実際には4つの部活動で活動をするということになると伺っている。様々なご意見はあると思うが、高洲二中の現状を考えていただき、学校適正配置に向けて協議を進めていただきたいと思っている。

〈久保田議長〉 運動会や部活動の状況についてお知らせいただいたが、教育の機会均等で考えるといかなものか。場合によっては格差につながるかもしれない。

〈原田委員〉 学校でのアンケートの反対意見とは、具体的にどのようなものだったのか。いろいろなお意見があると思うが、ここまで少人数化が進んできている中で、反対の意見がどのようなものなのか伺いたい。

〈宮崎委員〉 様々なご意見はあるが、大規模校から学区外申請で敢えて小規模校に来ている方がいること、通学するのに真砂からでは距離が遠くなること、これまでに小学校に説明がないこと、小規模校化のデメリットがあるような保護者会でのアンケートの取り方に疑問があること等があった。ただ、全体の中で反対意見は10～20%程度だったと思う。多数の方が、現状が危機的状況であると認識されているようだ。

〈高野委員〉 統合するのに伴って学区外申請によって、真砂地区は真砂中に通学できる可能性はあるのか。

〈事務局〉 地元説明会でもご説明したが、真砂一丁目から高洲一中までは距離が遠いことから、真砂一丁目の生徒については希望により、学区外通学が認められるような手段を考えている。

真砂五小の保護者や真砂一丁目の地域の方のご意見を伺った上で判断していきたい。

〈森委員〉 真砂五小の保護者からすると、位置的には高洲一中よりも真砂中の方が近い方もいる。ガード下の団地側の方からすると、磯辺中でも距離的に変わらないというご意見ある。まだ先の事とは思いますが、カスミの隣に建設されるマンション等、稲浜中が良いというご意見も出ている。早めに教育委員会での説明会を開催いただき、保護者全体アンケートをとって、全体の意見を伺いたい。個人的にお話を伺うと、真砂地区の学区外通学承認の話はあったが、実際の通学状況は様々である。また、中学3年生で統合を迎える生徒にとっては、同じ学年の仲の良い子どもがバラバラに進学することになりはしないか心配である。個人的に考えるのは、統合後しばらくの期間は、学区が選択できるようにするのが、保護者として一番安心できるのではないだろうか。

〈久保田議長〉 高洲一中の保護者の様子はどうか。

〈吉田氏〉 今回の議事におけるご意見は持ち帰りたいが、個人的に考えたこととして、高洲一中での統合を考えた場合、学校へ通うには時間がかかり、最初は戸惑うことも多いだろう。結局は学区外から進学している生徒をいかに考えるかが最も大きな課題になるだろう。距離が遠くなる子どもが、学区外通学で近くの学校に行けるとも伺ったが、学区外通学については良い面も悪い面もあるだろう。やはりこれまでもご意見が出ているように、統合する頃に中学校に通うことになる、現在の小学校の保護者の思いを聞いてあげるのが良い。小学校の保護者の意見が少しでも協議会で検討してもらえるようにしたい。

〈寺田委員〉 資料3の必要性の考え方等、内容について理解はできる。先ほど、高洲二中では統合に賛成の意見が多数であることは初めて知った。寧ろ反対が多いのかと思っていたので、そのあたりをデータでいただかないと判断が難しい。真砂五小でも賛成と反対のどちらが多いのかといったところも資料として今後は示してほしい。地域の話になるが、4月に策定された方針では、真砂五小が適正配置の優先度が最優先だったと思うが、一緒に考えていく必要があると地元説明会でも意見があったが、検討されているのか。

〈事務局〉 真砂五小の保護者会にも説明は行っているが、児童生徒数推計では真砂五小は児童数が増加することが予測されているので、保護者の間では小学校よりも中学校のことを心配されていることがあり、今回は様子を見たいと考えている。真砂五小は現時点では全校6学級、児童数90名で学校適正配置の優先度Ⅰとして位置づけている。宅地開発の状況によって異なってくることもあるが、2024年度には6学級120名以上となる推計結果であることから、優先度Ⅱとして位置づけていくことになる。教育委員会としてはまずは優先度Ⅰとなる学校について対応していくこととしている。現在市内で優先度Ⅰとしている学校が多数あり、真砂五小の保護者代表に伺った中で、真砂五小は様子を見ていくと説明させていただいている。

〈寺田委員〉 真砂五小がなくなると、地域に学校が無くなることになり、一緒に考えなければならないと思っていた。地元説明会では、まだ小学校への説明会がないというご意見が多数出た。その後、教育委員会としては説明会の開催については検討するとのことだったが、スピード感を持って対応いただき、意見を速やかに吸い上げてほしい。

〈藤谷委員〉 小学校の説明会は保護者会からお願いしないとやってもらえないのか。こちらからお願いするならば、日程を設定してお願いするのか。アンケートについても、各学校のアンケート文面を統一させないと、保護者会の負担になったり、不公平なものになってしまうと思う。協力いただきたい思いはある。反対意見のある方にとっては、伝えたいが伝える場がないと協議がなかなか進まないということがあるだろう。教育に携わったことがない保護

者にとってもは、いろいろな事務についてわからないことが多いのが実際である。

- 〈事務局〉 日程に関しては現在調整を行っており、高洲四小については4月中の開催を目安に、新年度の学校関係者と日程を調整していきたいと考えている。高洲二中で行う新1年生向けの説明会は、高洲二中で案内していただけるよう調整している。新年度に入ってから保護者会の総会等の機会をとらえて説明会を行いたい。
- 〈藤谷委員〉 今後も保護者会が主体となって調整に動く必要があるのか、教育委員会と学校で調整してもらえるのか、必要な書類も保護者会で作成するのか。書類の作成も教育委員会と連名にできるのか。
- 〈事務局〉 ご相談の上、方針を決めて対応していきたい。できるだけ説明会を開催する方向で検討し、今後は説明不足とならないようにやっていきたい。
- 〈藤谷委員〉 行政のほうからアンケートを説明会後に実施してもらえるのか。作成の方法等、今後実施に向けて教育委員会と調整していきたい。
- 〈久保田議長〉 意見聴取のためのアンケートを行うのに、保護者会では対応しづらい部分もあるのだろう。
- 〈事務局〉 先日の地元説明会でのご説明のとおり、学校に早速訪問したが、卒業式や年度末の対応で日程調整ができなかった。年度明けにすぐ開催するよう考えていたが、今年度の6年生が説明を聞く機会がないので、6年生だけでもまず対応してほしいというご指摘があった。卒業式後での対応はさらに難しいと学校と相談し、新中学1年生となる家庭に向けて説明会を開催することでまずは進めている。年度替わりの時期でなかなかうまく調整できないところがあったが、教育委員会としては日程調整ができれば説明に伺いたい。日程だけは保護者と学校で決めていただくほかない。
- 〈久保田議長〉 説明会を求める学校があれば、日程調整の上で、そこに教育委員会が訪問してという形で進めるのはどうか。円滑に進めていくためには、説明を聞いていただかないと前に進まないだろう。説明を聞いてないという議論について、どこかで区切りをつけないと進まないだろう。この流れについては、共通理解が図られたものとしたい。その他にはどうか。
- 〈浅野委員〉 資料の3ページで、真砂中と稲浜中の生徒数が増加するのは根拠があるのか。
- 〈事務局〉 宅地開発の情報を収集しており、稲浜中学区内の東京歯科大付近のマンション等を推計に含めているためである。
- 〈浅野委員〉 先ほどの議論として学校適正配置の緊急性が高いということであるが、今いる子どもの教育環境を奪うようなことは良くない。廃校になる学校の子どもや保護者については、学区を自由に選べるという方策をとることができれば、これまで出されているご意見について対応できるのではないか。もう一つは、廃校となった場所にマンションができて、あまり可能性はないのかもしれないが、高洲二中が復活するようなことはないのか。統合するまでの2年間は子どもにとって長い期間である。2年といわず速やかに統合できるよう進めても良いのではないか。
- 〈寺田委員〉 学校を対象にした説明会についてお話が出ていたが、団地にも説明に来てほしい。会場の提供や募集を対応すれば、説明に来ていただけるということによろしいか。
- 〈事務局〉 ぜひお願いしたい。
- 〈寺田委員〉 もう1点は、資料3にある「デメリットを補う」とはどのようなものがあるのか。デメリットを一つずつ解消していくことが円滑な協議につながると思うが、廃校になった時の具体的なデメリットとはなにか。
- 〈事務局〉 廃校となることのデメリットを挙げるとすれば、子どもたちにとっては通学距離が遠くなることや、友達関係が新しくなり肩身の狭い思いをしないかということだろう。先ほど浅

野委員からご指摘があったが、施設の面をみると想定スケジュールより速やかに統合することも可能である。事前に学校と相談した中で、部活動で交流したり、合同の活動を予め行って、人間関係を慣れさせた方が良いのではないかと伺っているため期間をとっている。地域関係では、統合に反対される理由でもあるが、避難所が遠くなること、心の支えとなる拠点が無くなり淋しい、地域が廃れる、といったご意見がある。教育委員会としてはその両面を考えてデメリットとしてお示ししている。

- 〈平川委員〉 住宅団地の住変わりなどを考えたときに、公団のURの土地に外国籍の方など入居されることがあるのではないかと。中長期的に考えた場合、高洲一中の敷地面積として、増築ができるような余裕はあるのか。所属している地域では子どもが少ない印象がある。仮に廃校となった跡地が売却された場合、周辺には新たに学校を建設できるような土地はない。将来的にどう考えているのか。地区にある高洲四小は児童数が増える余地はあまりないようだ。今までであった市民プールの跡地が活用された場合も、他の小学校の学区になるかもしれない。高洲四小も単学級となる時期が続くのではないかと考えている。
- 〈事務局〉 教室の数では、高洲一中は現状25教室の使用が可能であり、さらに他にも活用が見込める教室はある。
- 〈平川委員〉 新宿地区の事例のように、増築やプレハブを設置するようなことはないのか。高層住宅に居住する高齢者世代が代替わりすることも想定はしているのか。
- 〈事務局〉 現在の子どもの状況を基に推計を算出しているが、あまり遠い将来の予測となると不確実な要素が多くなる。そのため資料の中では現実的な数値をお示ししている。高洲一中に関しては校舎規模が大きいので、今後生徒数が増加しても対応できるものと考えている。
- 〈浅野委員〉 学区の選択については可能なのか。
- 〈事務局〉 学区については、千葉市では自由学区制を採用していない。地域と一体で子どもを育てていきたいという趣旨からである。他の自治体でも自由学区制を導入した事例もあるようだが、全国的にも広がりを見せていない状況である。現状千葉市では導入することはない。
- 〈浅野委員〉 高洲二中の学区が無くなることにはならないか。
- 〈事務局〉 高洲二中と高洲一中の学区が合わさって、統合新設校の学区になる。
- 〈浅野委員〉 学区通学の選択についてはどうか。
- 〈事務局〉 統合により通学距離が遠くなる方については、学区外通学申請を認める等、柔軟に対応していきたい。
- 〈浅野委員〉 通学の選択が保護者にとって最も重要なところになるだろう。機械的に学区を線引きするだけでは、統合に関する合意は時間がかかるものになる。子どもたちの現在を大事に考えていただきたい。
- 〈久保田議長〉 様々なご意見があるところと思うが、協議の方向性としては、学校適正配置の必要性があり、協議を進めていく。その中で説明会を行っていくということで結論づけて良いか。
- 〈委員一同〉 【 異議なし 】

議題2 高洲地区学校適正配置（案）について

- 〈久保田議長〉 第3次の実施方針では、教育委員会が学校適正配置（案）を提示することになっている。協議の結果、高洲地区の中学校に適正配置は必要であるということになったが、高洲地区学校適正配置（案）についての説明を事務局に願います。
- 〈事務局〉 【 資料4を配布 → 資料に沿って説明 】
- 〈久保田議長〉 説明のあった学校適正配置（案）については、次回の協議会で十分な時間を取り、協議を

行うが、今の段階でご質問等があればお願いしたい。

- 〈森委員〉 繰り返しのご意見となるが、学区外通学の承認については真砂中だけではなく、もっと広げていくべきという保護者のご意見があることに留意してほしい。
- 〈宮崎委員〉 重なるところもあると思うが、真砂一丁目の地区に学区外通学の承認をするのではなく、友達と一緒にになれるように、地区を限定するのではなく真砂五小学区全域に広げるなど見直してもらうことを考えていただきたい。
- 〈森委員〉 高洲四小でも、高洲一中よりも稲浜中の方が近いという意見も出てくると思う。
- 〈宮崎委員〉 稲浜中での統合は難しいのか。
- 〈事務局〉 宅地開発による生徒数増で教室が一杯になると想定している。
- 〈宮崎委員〉 プレハブ校舎等を設置する等して対応はできないのか。
- 〈事務局〉 学区外通学の承認については、地域の子ども全てが一方の学校への就学を希望した場合でも、学校で受け入れが可能となる必要がある。また、承認を行うためには、自治会等の地域からも要望書を提出していただく必要がある。承認を検討する子どもたちで受け入れ先が一杯になるという場合は、承認することはできないことになっている。今後も児童生徒数の推計を行いながら、検討させていただきたい。
- 〈久保田議長〉 次回の協議会で議論する中で、ご意見の内容について事務局でも予め検討をしておいていただきたい。その他はどうか。
- 〈森委員〉 次回の協議会を開催する前に、保護者の意見を伺ってからの方が円滑に協議が進むと思う。
- 〈宮崎委員〉 部活動については、来年度から入学する生徒や保護者から、部活動が4つで少ないのでなるべく早く合同で活動できる体制が出来るようにしてほしいというご意見を伺っている。統合に時間がかかるような場合でも、部活動の部分だけは配慮していただきたい。
- 〈久保田議長〉 今回提示された学校適正配置（案）については、次回も時間をかけて協議をしていきたい。この学校適正配置（案）について各団体でご意見やご要望をまとめておいていただきたい。

議題3 今後の学校適正配置の進め方について

- 〈久保田議長〉 事務局から説明をお願いします。
- 〈事務局〉 今後は、各団体で先ほどご提示した高洲地区の中学校の学校適正配置（案）を協議していただきたいと考えている。次回の協議会では、学校適正配置（案）について十分な協議をしていただきたい。次にどのように決定するか、その決定方法も話し合っていただきたい。その決定方法に則って、第3回の協議会で、統合についての合意が得られればと考えている。それまでに各委員には各団体の意見をまとめていただきたい。
- 〈久保田議長〉 事務局の提案について、ご質問等はあるか。
- 〈寺田委員〉 最短スケジュールとして平成33年度4月の統合校開校と示されているが、このためにはいつまでに教育委員会会議での決定がなされる必要があるのか。教育委員会会議の決定はいつまで待てるものなのか。
- 〈事務局〉 行政の手続き上、予算要望の時期が決められている。予算要望は10月までに財政部門に提出しなければならない。そのため、10月までに簡易な改修に向けた予算要望を行う。要望するためには、8月より前の教育委員会会議での議決が必要である。これに間に合わない場合は、次年度の対応となる。逆に統合を早め、平成31年度4月開校を想定する場合は、予算要望を行う機会がないため、昇降口の拡張やロッカーの整備などの改修工事や、予算確保を伴う移転を行わず、施設をそのまま使用する場合は可能であると思われる。
- 〈久保田議長〉 次回以降の開催スケジュールについて、事務局より提案をお願いします。

〈事務局〉 次回は、来年度の５月中旬～６月上旬頃に開催したい。具体的には５月２５（土）または、６月１日（土）の開催を考えている。自治会、保護者会で役員の改選があると思われるので、協議会にご参加いただく方に変更がある場合は、企画課まで連絡をお願いしたい。第２回の開催日時が決定したら、各委員にご案内文を郵送させていただく。決定した開催日時については、各団体の方にも必ずお知らせいただきたい。また、この協議会は傍聴が可能であることを申し伝えておく。

※５月２５（土）・６月１日（土）は高洲地区の小中学校で、運動会、体育祭を実施する学校があるため、日程については、再度両会長と調整することになった。

（５）連 絡

- ・ 今回の議事要旨の案を事務局で作成し、各委員の修正確認を行っていただく。
- ・ 学校行事や各委員の都合を確認し、開催日時が決まり次第、開催案内を送付する。
- ・ 協議会を欠席する場合や協議会委員に変更がある場合は、事務局に連絡いただきたい。欠席となる場合は、可能な限り代理での出席をお願いする。
- ・ 協議に関する問い合わせは教育委員会企画課で受け付ける。